

これまでリフォームといえば、使い勝手の悪くなった部分を修理・修繕することというイメージが強かったが、近ごろは家族構成や暮らしの変化に伴って住まいを全面的に作り替えるほどの積極的なリフォームを行う人も増えてきた。フリーアナウンサーの田村あゆちさんが、三井のリフォーム住生活研究所の西田恭子所長に、リフォームの利点や上手な利用の仕方を聞いた。

大きく広がっている リフォームの可能性

田村 先日、友人が中古マンションを購入して全面リフォームしたので見せてもらったのですが、最近ではリフォームでここまでできるのかと驚きました。

西田 構造体だけを残して全て造り直すスケルトンリフォームなら間取りも大胆に変えられますし、感覚としては新築住宅とほとんど変わらないと思います。技術もど

んどん進歩していますから、単に水まわりを取り替えた和室をフローリングに変更したりというだけではない、斬新なリフォームも可能になってきました。

田村 今のリフォームは何でもできるのですか。

西田 柱や窓の位置など変えようがない部分もありますが、それを逆に生かしたプランニングも可能ですから設計の専門家に相談してください。私たちの会社では、建築士の資格を持つ「リフォームプランナー」[®]がご家族の希望に沿っ

た住まいのあり方を提案しています。そして当社のリフォームプランナーは単なる建築技術の専門家ではなく、みなさんと一緒に暮らしをデザインするパートナーです。部屋数はいくつで廊下をどうつなぐのか、といったことだけが住まいのプランニングではありませんから、なるべく固定観念を持たずに暮らしの実態に即して考えていくことが大切です。

田村 住まいに暮らしを合わせるのではなく、自分たちにとって理想の暮らしをイメージして、それにふさわ

三井のリフォーム住生活研究所所長

西田恭子さん

リフォームは理想の住まいを手に入れる近道です

暮らしをデザインする リフォームという方法

中古物件＋リフォームで選択の幅が広がりますね

フリーアナウンサー

田村あゆちさん

✓しい住まいを考えていくことが大切なんです。

立地や価格で妥協せず 選択肢を広げられる

西田 中古住宅のストックが増え、数のうえでは日本の住宅はすでに充足しています。一方でシニアの単身者や子育てが終わった夫婦2人だけといった家族のカタチが多様化してきています。

田村 これまでのように、夫婦と子ども2人の「標準家庭」向けの住まいだけでは私たちの暮らしに合わなくなってきたということですね。

西田 そうです。だからこそ、せつかくの充実したストックを生かすためにはリフォーム

ムという切り口が不可欠になっていきます。特に、近年の住宅はその基本的な機能や性能が向上しているの、いい物件に出合えることが多いです。従来のリフォームは、長年

住み慣れた自宅を最後の暮らしに合わせて手直しするというものでしたが、近年はこれに加えて、初めから全面リフォームを前提に中古住宅の購入を検討する人が増えています。

田村 立地や予算について明確な希望があるなら、中古物件も含めて探したほうが選択肢は広がりますよね。

西田 ええ。希望のエリアでリーズナブルな中古物件を手に入れて、新築との価格差をリフォームに充てれば、より理想の実現に近づくのではな

いかと思います。

田村 リフォームの専門家に相談する際に注意することはありませんか。

西田 当研究所が属する三井不動産リフォーム株式会社のリフォームプランナーは全員女性なので、きめ細かな対応や相談のしやすさで好評をいただいています。また、デザインリフォームを得意とし、グッドデザイン賞をはじめ各種の賞を多く頂いております。また三井不動産グループには、仲介を行っている三井のリハウスもあり、中古物件探しから一緒にお手伝いすることもできます。各社にはそれぞれ得意な分野がありますから、いろいろな会社に相談して内容を比較してみるのはいかがでしょうか。

■にしだ・きょうこ / 住宅リフォームの事例分析で新しいライフスタイルのあり方を提言し、大学や各方面で講演活動を行っている。テーマは「中古住宅購入とリフォーム」「近居・隣居・同居から育孫・介護・シニアの暮らし」「エコへの取り組み」など。

■たむら・あゆち / ミシガン大学卒業、東京大学大学院医学系研究科修士課程修了。理系のバックグラウンドと海外生活の知識や語学力を生かし、政治・経済分野の報道番組、医療系シンポジウムなどで幅広く活躍。